

PVI2025 外観検査ワークショップに参加して（寄稿）

小野和奏(横浜市在住。女子中学生)※

PVI 2025 に参加させていただきありがとうございました。私が一番この会で勉強になったと思ったのは周辺視の話です。周辺視は全体を見ることで製品のキズや不具合を早く効率的に見つけることができるらしく、照明などを工夫することでもっと効果的に使えるそうです。この考え方は、この業界だけでなく普段の生活で無意識に使っている人がいると思いました。例えば、洗い物をしている時、光の反射で残っている汚れを探すことなどです。私はまだ仕事で製品を検査するために使ったりすることはないけれど、周辺視はそれ以上に多様な場所で活用できると思ったので洗い物とかだけではなく他にも有効活用できるところを探してみたいと思いました。この周辺視の話と同時にガゾウさんの視線トラッキングの技術が紹介されましたが視線トラッキングと周辺視の技術がどのように関係していくのかをもっと知りたいと思いました。私が参加した時は技術的な話だけではなく歴史の話も出たりして幅広い話題があって楽しかったし、最後にみんなで食べたオードブルがすごく美味しかったです。全国から人が来ていて、みんなでお土産を持ち寄ったのですが、今回は食べられなかったので次回は早めに手を出したいと思いました。

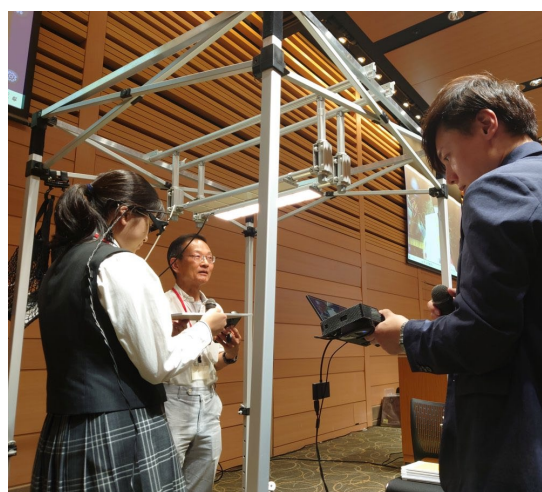


写真 目視検査体験の様子
(アイカメラ装着)

※PVI2025 では小野和奏氏のキャリア教育を支援する趣旨で半日インターンシップ生として受け入れました。